

SADA KEIJI

佐田 啓二

生誕 100年 記念特集



©1957 松竹株式会社

令和8年度 右京ふれあい文化会館文化事業 京都・太秦 キネマのまち

2026.12/9 (水) 12/10 (木)

【12/9 限定】
エッセイ「父の贈りもの」
会場販売 & サイン会

10月3日(土)10時
チケット発売開始

12/9 (水) ステージトーク & 上映会

第1部 ステージトーク 中井貴恵氏「父の贈りもの」
第2部 上映 「喜びも悲しみも幾歳月」

12/10 (木) 上映会

上映 I 「この広い空のどこかに」
上映 II 「秋日和」

 右京ふれあい文化会館 ホール



中井 貴恵氏



12/9 (水) 開場 12:45 開演 13:00

第2部：上映

喜びも悲しみも幾歳月

松竹/1957年/総天然色/162分/35mm

13:45-16:30

第1部：ステージトーク

中井貴恵氏「父の贈りもの」



中井貴恵氏

俳優/エッセイスト



©1957 松竹株式会社

■監督：木下恵介/原作：木下恵介/脚本：木下恵介/
撮影：楠田浩之/音楽：木下忠司/特殊撮影：川上景司
■出演：佐田啓二/高峰秀子/有沢正子/中村賀津雄/
田村高廣/伊藤弘子/北竜二/仲谷昇/夏川静江/桂木
洋子/小林十九二/坂本武/三井弘次/井川邦子/岡田
和子/桜むつ子/明石潮/夏川大二郎/磯野秋雄

中井貴恵氏は大学一年時、お母さまと当時中学生だった貴一氏とともに中央区京橋のフィルムセンター（現・国立映画アーカイブ）で本作品を鑑賞された際、開演を待つ長蛇の列に亡き父・佐田啓二の偉大さに圧倒されたとのこと。

かつての日本には灯台守という職業が存在した。まさに♪沖行く船の無事を祈って灯をかざす♪のが任務。たった一度のお見合いで結婚したという灯台守の夫婦（佐田啓二&高峰秀子）も、全国各地の灯台を職務で転々としながら人里離れた僻地の過酷な生活や激しくなる戦禍、そして最愛の息子を亡くするという苦難をも夫婦ともに力を合わせて乗り越えていく姿を描いた超大作。木下忠司作曲「喜びも悲しみも幾歳月」（歌：若山彰）はいまに至るまで多くの人の知る歌となった。

料金

前売券 2,000円（指定席）

当日券 2,500円（指定席）

12/10 (木)

この広い空のどこかに

松竹/1954年/モノクロ/111分/Blu-ray

12:10-14:00



©1954 松竹株式会社

■監督：小林正樹/脚本：楠田芳子/
潤色：松山善三/音楽：木下忠司
■出演：佐田啓二/久我美子/高峰秀子/
石濱朗/浦辺粂子/内田良平/小林トシ子/大木実/
田浦正巳/中北千枝子/日守新一/光村謙/
橋橋マリ/三好栄子

本作で佐田啓二は酒屋の主人で妻思いの優しい亭主役を演じている。酒屋の屋上で久我美子と佐田啓二が「幸せのボール」を投げるシーンが印象的。なおこの作品を長女・中井貴恵氏、長男・中井貴一氏とともに好きな作品に挙げている。

活気あふれる戦後の川崎で酒屋を営む森田家は、長男で若主人である良一（佐田啓二）とその新妻・ひろ子（久我美子）、良一の亡父の後妻・しげ（浦辺粂子）と戦災で足を悪くして婚期を逃した妹・泰子（高峰秀子）、学生の弟・登（石濱朗）の5人家族。家族それぞれが理想と現実のギャップに悩み、傷つきながらもそれぞれの「幸せ」を見つけていく人間ドラマ。

秋日和

松竹/1960年/総天然色/128分/35mm

14:25-16:35



©1960 松竹株式会社

■監督：小津安二郎/原作：里見淳/
脚本：野田高梧・小津安二郎/制作：山内静夫/
撮影：厚田雄春/音楽：斎藤高順
■出演：佐田啓二/原節子/司葉子/岡田茉莉子/
笠智衆/佐分利信/中村伸郎/北竜二/
沢村貞子/桑野みゆき/島津雅彦/三宅邦子/
田代百合子/設楽幸嗣/三上真一郎/渡辺文雄/
長谷部朋香/千之絳子/竹田法一/桜むつ子/
十朱久雄/南美江/須賀不二男/高橋とよ/
岩下志麻/川村睦平/菅原通済/山本多美

小津作品のなかでも高く評価される本作、佐田啓二は商事会社に勤めるエリートサラリーマン役を演じている。佐分利信、中村信郎、北竜二の「お節介三人組」に岡田茉莉子が絡むシーンなど見どころ満載。

友人の七回忌に集まったおじさん3人組（佐分利信&中村伸郎&北竜二）は未亡人となった美しい妻（原節子）の行く末と婚期を迎えた娘（司葉子）のことが気になって仕方がない。おじさん3人組が娘の結婚話にお節介を起こしたことをきっかけに、母と娘の日常生活が変化していく。母と娘のお互いを思いやる愛情の深さ美しさ、そして嫁ぐ娘をおくる母の幸せと寂しさを繊細に描いた名作。

佐田啓二

「この広い空のどこかに」公開時のパンフレットより
一番やりたい役

映画の仕事をはじめてから、ずい分いろいろな役を演らせてもらったが、この酒屋の主人の役は今迄演つたどの役柄よりも好きだ。大体、僕はこういった役柄を前々から演らせてもらいたいといふ何時も思つていたが、今度こそ僕の望んでいた役柄にブツかつた訳なので、大変にやり甲斐を感じている。監督の小林さんとは個人的に仲良くつき合つてゐるし、一緒に出演する方たちも前に二度共演したことのある人達ですが、何となく他社出演をしている様な感じがする。とにかく此の役こそはうまく演り上げてみたいと思つてゐる。

料金

前売券 各 1,000円（自由席）

当日券 各 1,300円（自由席）

「この広い空のどこかに」「秋日和」それぞれに入場券が必要です。なお、両作品をご鑑賞いただけるお得なセット券があります。裏面でご確認ください。



生誕100年

佐田啓二



中井寛一さん(左)と中井貴恵さん(自宅の庭で)

1926年京都市下京区の商家に生を受ける。市立聚楽小学校、市立第二商業学校(現・北野中学校)を経て早稲田大学専門部政経科(現・政治経済学部)に進む。俳優・佐野周二の元に下宿していたことが縁で卒業後松竹大船に入社。芸名は佐野周二から姓と名1字ずつを譲られ「佐田啓二」とした。47年のデビュー作は当時大女優として一世を風靡していた田中絹代との共演「不死鳥」。その後53年岸恵子さんとの「君の名は」でトップスタアの座を射止める。54年「この広い空のどこかに」、56年「あなた買います」(毎日映画コンクール男優主演賞、ブルーリボン主演男優賞等)、また高峰秀子との共演では57年「喜びも悲しみも幾歳月」「風前の灯」61年「永遠の人」62年「二人で歩いた幾春秋」といったヒット作を次々と銀幕の世界に登場させた。また、木下恵介、小林正樹、小津安二郎・・・など錚々たる名監督との作品を数多く残した。なかでも59年「お早よう」60年「秋日和」62年「秋刀魚の味」という小津作品への出演は佐田啓二の業績に際立った彩りをそえる。

64年、37歳で不慮の事故により死去。この時、長女・貴恵氏6歳、長男・貴一氏2歳。その短い生涯にかかわらず出演作品151本。

2026年12月9日は氏の生誕からちょうど100年。長女・中井貴恵さんをゲストに、氏の出演作品や亡きお父様の思い出などを伺ってみたいと思います。俳優・佐田啓二、そして子煩悩で家族思いの中井寛一氏の素顔にも触れながら、亡き名優の偉業・遺業を偲びたいと思います。

本名：中井寛一
1926-1964
俳優



～佐田啓二生誕100年記念特集～

12/9 (水)

第1部: ステージトーク

中井貴恵氏「父の贈りもの」 13:00-13:30

第2部: 上映「喜びも悲しみも幾歳月」 13:45-16:30

※12/9は15分前開場です。

※終演時間は多少延びる可能性があります。

前売券 2,000円 / 当日券 2,500円 (全席指定席)

12/10 (木)

上映Ⅰ「この広い空のどこかに」 12:10-14:00

上映Ⅱ「秋日和」 14:25-16:35

※12/10はいずれも10分前開場です。

前売券 各 1,000円 / 当日券 各 1,300円 (全席自由席)

2作品
セット券

前売券 1,600円 / 当日券 2,000円 (全席自由席)

10/3 (土) 10時 チケット発売開始

※当会館での販売は発売初日10/3のみ午前10時からの販売です。10/4以降は9時から販売いたします。

チケットのご予約・ご購入

■右京ふれあい文化会館 075-822-3349

9時～17時 / 毎週火曜日休館 (休日の場合は翌平日)

■京都コンサートホール 075-711-3231

10時～17時 / 第1・第3月曜日休館 (休日の場合は翌平日)

■ロームシアター京都 075-746-3201

10時～17時 / 年中無休 (臨時休館日を除く)

■オンラインチケット

<https://www.kyotoconcerthall.org/ticket/>

24時間購入可 ※要事前登録 (無料)

🔍 京都コンサートホール チケット



中井 貴恵

俳優 / エッセイスト

1978年映画「女王蜂」でヒロインデビュー。

1983年映画「制覇」で日本アカデミー助演女優賞を受賞。その後数々の映画・ドラマに出演。1998年より『大人と子供のための読みきかせの会』の代表をつとめ、小学校、幼稚園、小児病棟などでの公演は現在までに1700回に及ぶ。2009年にスタートした小津安二郎監督映画を朗読する「音語り」は好評で、シリーズ6作品を全国で公演中。2015年人気小説あんを原作者ドリアン助川氏と二人で演じる「朗読劇あん」を初演。2017年翻訳絵本をピアノにのせて朗読する「おとな絵本の朗読会」シリーズ開始、全国で公演中。2019年ドキュメンタリー映画「<片隅>たちと生きる 監督・片渕須直の仕事」ナレーションを担当。2022年4月 Amazon Audible「岸恵子 自伝」ナレーション担当。

【主な著書】絵本再話「くるみわり人形」「はだかの王さま」、絵本翻訳「ハンナとシュガー」「メイがはじめてがっこうへいくひ」「ふたりのバナナ」他多数。

会館
イベントの
最新情報は
こちら



facebook



X



Instagram

アクセス

■鉄 道 JR山陰本線嵯峨野線「花園駅」下車 南へ徒歩約5分
京都市営地下鉄東西線「太秦天神川駅」下車 ①番出口から北へ徒歩約10分
京福電鉄嵐山線「嵐電天神川駅」下車 北へ徒歩約12分

■市バス 27・特27号系統「右京ふれあい文化会館前」下車
91・93号系統「花園駅前」下車 / 8・特8・75号系統「黒橋」下車

※有料駐車場あり(30分100円)。バイク・自転車は駐輪場へお停めください。



右京ふれあい文化会館

京都市右京区太秦安井西裏町11番地6 TEL:075(822)3349

